

「備える暮らしますだ防災フェスティバル」開催要項

1. 目的

難しく考えがちな「防災」をより身近に感じてもらうため、「知ること」と「体験すること」を中心に防災を学んでもらう。また、市内外の一般住民と地域でさまざまな防災活動をしている人や団体を結び付けることで、地域防災力の向上に資する。

2. 開催日時

令和7年5月25日（日）10時00分～15時00分

3. 開催会場

ジャストホール

（島根県益田市遠田町2179-1）

4. 主催

特定非営利活動法人 石西防災研究所

5. 共催

アウトドアベース SUNPO

6. 後援

島根県、益田市、(株)山陰中央新報社

7. 参加予定

一般住民1,000名、地域などで防災活動をしている企業、団体、個人10程度

8. 内容

会場内を「知るブース」と「体験するブース」に分け、災害や地域の防災活動について知り、体験してもらう。

○知るブース

・防災ミニ講演会

地域などでさまざまな防災活動をしている人や団体が、それぞれその活動内容、あるいは防災などについて短時間の連続講演を開催する。

・防災に関する展示

災害とはどのようなものか、発災時、出展しているさまざまな団体がそれぞれどのような活動をするのかについてわかる展示を行う。

・ハザードマップ等による危険度診断

自分の家がどのようなリスクを持っているのかや避難をするとした場合の安全な避難経路、避難先について情報を見ながら考えてもらう展示

・小学生のぼうさい探検隊の紹介

損害保険協会の開催している小学生のぼうさい探検隊の案内や機材の体験会

・ペットとの車中泊展示・体験

- ・非常給電装置搭載型車両や車中泊が可能な車両の展示
- ・防災用品の展示や販売

普段見ることがなく、触れることもない非常時に備えた防災用品を実際に手に取ってもらい、確認してもらい、必要に応じて購入もできるようにした展示。

○体験するブース

- ・非常食、災害食の展示・試食コーナー

長期保存食や備蓄食を実際に自分で作ってもらい、試食してみる。

- ・炊き出しコーナー

被災地での炊き出しを再現し、提供メニューについて試食してもらう。

- ・ワークショップコーナー

防災グッズを実際に使って避難スペースなどを設営。

いざというときに身を守る方法を練習する。

- ・ふろしきワークショップ
- ・避難所テント設営体験

- ・喫茶コーナー

あまり意識されていないが、被災地では非常に重要な嗜好品のコーヒーを提供。

また、疲れたところを和ませてくれるウクレレ演奏もあるかも？

- ・防災ゲームコーナー

その他、参加団体が災害時に役立つ体験をやる。

9. 参加料

一般参加者は無料（ただし試食体験やワークショップには有料のものも有）

10. 申込み、問合せ先

特定非営利活動法人 石西防災研究所（担当：伊藤）

e-mail：info@sekisei-bousai.org

電話：090-8248-1300